

調査レポート「オーストラリアにおける水素産業に関する調査」

カテゴリー	社名・団体名（日本語名称は非公式訳のものを含む）	拠点	URL	本文関連ページ	概要や参加プロジェクトなど
政府機関	Department of Industry, Science, Energy and Resources オーストラリア産業・科学・エネルギー資源省	ACT	https://www.industry.gov.au	-	国内経済と雇用を推進するオーストラリア連邦政府機関。水素市場拡大を目的として、技術開発促進、ハブ、サプライチェーン等へのインフラ投資、二国間協定締結などの支援策に取り組んでいる。特に二国間協定においては、日豪で水素サプライチェーンの構築を推進している。
政府機関	COAG Energy Council COAG エネルギー評議会	ACT	http://www.coagenergycouncil.gov.au/	6,10,26	オーストラリア連邦と各州、ニュージーランドの関係フォーラムであり、国家的なエネルギー改革の推進に向けて協力する評議会。2013年12月にオーストラリア政府間評議会（COAG）によって設立。2019年11月に国家水素戦略を発表。
政府機関	CSIRO オーストラリア連邦科学産業研究機構	ACT	https://www.csiro.au/	26,41	科学技術研究をもって、社会経済問題の解決を目指す研究機関。CSIROは産学官連携による研究、開発、実証に関するプロジェクトの実現を可能にする水素ミッションを設定し、国内および輸出に向けた水素産業への能力付与に重点を置いている。2018年に経済的利益、世界的な脱炭素化を支援することができる国内および水素輸出産業の構築を目的として、オーストラリアの水素市場ロードマップを作成した。また2019年には雇用計画や経済効果についての報告も行った。
政府機関	Australian Renewable Energy Agency (ARENA) オーストラリア再生可能エネルギー機関	ACT	https://arena.gov.au/	6-8,11-13 他多数	オーストラリアにおける再生可能エネルギーの競争力の向上と供給量の増加を目的として、2012年7月に連邦政府によって設立されたクリーンエネルギー基金組織。再生可能エネルギーや水素開発の研究・プロジェクトに多額の支援を行っている。2019年に水素開発の迅速化を目的に最大7,000万豪ドルの資金調達計画を発表。現在支援対象となる企業を選考中。
政府機関	Clean Energy Finance Corporation (CEFC) クリーンエネルギー金融公庫	NSW	https://www.cefc.com.au/	11,12	オーストラリアの排出量削減に向けて、政府の支援を受けて投資を行っている基金組織。Advancing Hydrogen Fundなどを通じてオーストラリアの水素市場開発に投資を行っている。
政府機関	Austrade オーストラリア貿易投資促進庁	NSW	https://www.austrade.gov.au/	22	国内企業の海外進出、海外企業からの投資促進を目的とするオーストラリア連邦政府傘下の機関。JETROとアグリビジネスや水素、都市開発などイノベーション部門に関して協力関係を結ぶ覚書を締結している。
政府機関	National Energy Resources Australia (NERA) オーストラリア全国エネルギー資源	WA	https://www.nera.org.au/	12	国内資源産業の開発を支援するため連邦政府によって設立された機関。水素産業においては中小企業の事業参画を促し、産業界での連携を推進させることを目的としている。これによりオーストラリア企業による新技術、製品、サービスの国内水素産業や輸出市場への供給を有利にし、経済的利益を最大化させることを目的としている。2021年2月、世界的に競争力のある水素産業を育成するため、13カ所の水素クラスター設置に185万豪ドルを投資することを発表した。
政府機関	Australian Research Council オーストラリア研究会議	NSW	https://www.arc.gov.au/about-arc	32	研究開発の管理、補助を行う機関で、政府の研究開発投資に対する助言も行う。2020年6月、NSW大学と連携して水素生成と輸出の発展を目的としたトレーニングセンターの設立を発表。
政府機関	Center for Hydrogen Safety	米国 NY	https://www.aiche.org/chs	-	水素の安全性、生産効率の向上を目的に設立された国際的な非営利団体。オーストラリア政府はメンバーとして加入している。
政府機関	Hydrogen industry development fund	QLD	https://www.dsdmip.qld.gov.au/industry/priority-industries/hydrogen-industry-development	16	QLD州政府の水素産業戦略の一環として設立された基金。
政府機関	Renewable Energy Innovation Fund	ACT	https://www.environment.act.gov.au/energy/growth-in-the-clean-economy	17	ACT政府が運営する、再生可能エネルギーの発展を目的とした基金。
政府機関	Renewable Technology Fund	SA	http://www.renewablesa.sa.gov.au/to/pic/hydrogen	21	SA州の再生可能エネルギー開発を支援する1億5,000万豪ドルの基金。
政府機関	Western Australian Renewable Hydrogen Fund	WA	https://www.wa.gov.au/government/announcements/22-million-investment-accelerate-renewable-hydrogen-future	37	WA州政府が水素事業とそれに伴う雇用創出を推進するために設立した1,000万豪ドルの開発基金。
大学	Australian National University (ANU)	ACT	https://www.anu.edu.au/	9,14	進行中のプロジェクト：Bio Inspired Hydrogen Generation, Efficient Solar Hydrogen Generation, Improving Efficiency, Durability & Cost-effectiveness of III-V Semiconductors ARENAより水素製造の効率化など3つの研究プログラムに助成金を受けている。
大学	Curtin University	WA	https://www.curtin.edu.au/	-	Griffith大学の水素研究ラボ「National Hydrogen Materials Reference Facility (NHMRF)」の研究パートナー。
大学	Deakin University	VIC	https://www.deakin.edu.au/	-	進行中のプロジェクト：Hycel 同大学のWarrnamboolキャンパスにおける技術ハブで燃料電池のプロトタイプとテストプラントを建設する。
大学	Griffith University	QLD	https://www.griffith.edu.au/	16	進行中のプロジェクト：National Hydrogen Materials Reference Facility, Sir Samuel Griffith Centre 水素エネルギー技術の研究を支援するために、水素貯蔵材料と水素脆化に焦点を当てたラボ「National Hydrogen Materials Reference Facility (NHMRF)」を設立。また、同大学のSir Samuel Griffith Centreは、1,000枚以上の太陽光発電パネルを備え、水素を金属水素化合物として安定した形で貯蔵することで、電力網から独立して稼働している。
大学	Macquarie University	NSW	https://www.mq.edu.au/	-	進行中のプロジェクト：Biological Hydrogen Production さまざまな再生可能エネルギー源からの糖質を、効率的かつ迅速に水素ガスに変換することができるバクテリアの生産を目指している。
大学	Monash University	VIC	https://www.monash.edu/	29	進行中のプロジェクト：Ammonia Production from Renewables, Low-Cost, Robust, High-Activity Water Splitting Electrodes, Woodside Monash Energy Partnership ARENAより2つの研究プログラムに助成金を受けている。またWoodside Petroleumと7年の水素研究事業に4,000万豪ドルを共同出資している。
大学	Murdoch University	WA	https://www.murdoch.edu.au/	14,19	進行中のプロジェクト：Hybrid PV – Battery-Hydrogen System for Microgrids Pilbaraの先住民のコミュニティを対象に、グリーン水素などを用いた独立型マイクログリッドの実現可能性調査を行っている。
大学	Queensland University of Technology (QUT)	QLD	https://www.qut.edu.au/	23,38	進行中のプロジェクト：Hydrogen Process R&D, MCH Research Tests グリーン水素燃料を製造するパイロットプラントを設立する840万豪ドルの研究プロジェクトを主導。またBOCオーストラリアより納入されたQLD初の水素補給ステーションをキャンパス内に設置している。また、日本のJXTGエネルギー(ENEOS)とともに、メチルシクロヘキサン(MCH)と呼ばれる物質を介したグリーン水素の製造と日本への輸出およびMCH製造プロセスのスケールアップ試験を行っている。
大学	RMIT University	VIC	https://www.rmit.edu.au/	-	進行中のプロジェクト：Proton Flow Reactor System 九州大学カーボンニュートラルエネルギー研究所らと共同で、再生可能エネルギーによる電力の貯蔵と、貯蔵されたエネルギーを元に水素炭素ベースの粉末を製造し、バルク輸出が可能な「proton flow reactor」システムを開発することを目標としている。
大学	Swinburne University	VIC	https://www.swinburne.edu.au/	14	2021年2月、同大学を中心に、CSIRO、ドイツのARENA 2036らと連携し、VIC州政府から1,000万豪ドルの出資を受け、Victorian Hydrogen Hubを結成した。
大学	University of Melbourne	VIC	https://www.unimelb.edu.au/	-	進行中のプロジェクト：Enabling Efficient, Affordable & Robust Use of Renewable Hydrogen 再生可能な水素を利用した高効率中・大型レシプロエンジンの性能と価値の実証研究を行っている。
大学	University of New South Wales (UNSW)	NSW	https://www.unsw.edu.au/	32	進行中のプロジェクト：Highly Efficient & Low Cost Photovoltaic-Electrolysis System, Waste Biomass to Renewable Energy, ARC Training Centre for the Global Hydrogen Economy, Hydrogen Energy Research Centre 金属水素化合物を用いて水素ガスを貯蔵することで、水素を高密度かつ低圧で貯蔵し、必要に応じて加熱することで水素ガスとして再放出することができる技術「H2Store技術」を開発。学内に2カ所の水素研究センターが開発される予定で、数多くの研究プロジェクトが進行している。
大学	University of Newcastle	NSW	https://www.newcastle.edu.au/	14	シドニー北部の水素クラスター「Hunter Hydrogen Technology Cluster」を主導。また、学内のNewcastle Institute for Energy and Resources (NIER)に設置されたパイロットプラントで太陽光によるグリーン水素製造の実験を行っている。
大学	University of Queensland (UQ)	QLD	https://www.uq.edu.au/	16	進行中のプロジェクト：Renewable Hydrogen Powered Intercampus Transport 2022年までにQLD州で初の試みとなる水素燃料電池バス2台を導入予定。
大学	University of Technology Sydney (UTS)	NSW	https://www.uts.edu.au/	-	2019年9月、学部横断の水素研究チームHydrogen Energy Programを結成。
大学	University of Western Australia (UWA)	WA	https://www.uwa.edu.au/home	-	進行中のプロジェクト：Methanol from Syngas R&D バイオマスによる再生可能なメタノールを合成するための研究開発を行っている。メタノールは液体の状態でも容易に輸送・貯蔵でき、使用時点で容易に水素に変換したり、低炭素輸送燃料として直接使用できる。

調査レポート「オーストラリアにおける水素産業に関する調査」

カテゴリー	社名・団体名（日本語名称は非公式訳のものを含む）	拠点	URL	本文関連ページ	概要や参加プロジェクトなど
研究機関	Blue Economy CRC	TAS	https://blueeconomycrc.com.au/research/offshore-renewable-energy-systems/	-	水産養殖資源、海洋再生可能エネルギー事業の研究開発を行う機関。海水の電気分解によって水素と水産養殖用の酸を生産する事業が行われている。
企業団体	Future Fuels CRC	-	https://www.futurefuelscrc.com/	26	脱炭素社会の構築を目的に燃料研究開発を行う機関。2018年に60以上の企業、6つの大学、規制当局などの協力のもと設立された。Future Fuels CRCには、7年の実施期間中に連邦政府から2億6,250万豪ドルの拠出金が与えられる。
業界団体	Australia Hydrogen Council (AHC) オーストラリア水素協会	VIC	https://h2council.com.au/	22,23,39	輸送、輸出、貯蔵、定置用の新しい水素・燃料電池技術の商業化を促進したり、水素・エネルギー業界の全ての利害関係者の効果的なコミュニケーションと協力のためのフォーラムを提供するための業界団体。トヨタ自動車と韓国の現代自動車がオーストラリアの水素経済を加速させるために2017年に設立したHydrogen Mobility Australiaが前身となっている。
業界団体	Australian Association for Hydrogen Energy (AAHE) オーストラリア水素エネルギー協会	QLD	https://www.hydrogenaustralia.org/	-	エネルギーキャリアとしての水素の利用、オーストラリアのエネルギー経済への統合、燃料電池などの水素エネルギー技術の開発と展開を推進する全国的な団体として、2009年後半に設立。2019年8月、Smart Energy Councilと共同でオーストラリアにおける新興の水素産業の発展を支援するため、AAHEの一部門として「Hydrogen Australia」の設立を発表。世界水素エネルギー会議(World Hydrogen Energy Conference)のオーストラリア開催に向けた入札を行う他、ワークショップの開催やオーストラリアの国家水素戦略の策定に携わるなど、さまざまな活動を行う。
業界団体	Clean Energy Council (CEC) クリーンエネルギー協議会	VIC	https://www.cleanenergycouncil.org.au/	-	800以上の企業・団体などで構成されるクリーンエネルギーに関する協議会。
業界団体	Hydrogen Society of Australia (HSA)	WA	https://hydrogensociety.org.au/	14	クリーンな燃料およびエネルギー貯蔵ソリューションとしての水素の重要性を促進する団体。Innovate Australia、Woodside、Siemensによって2018年1月に発足。
業界団体	Smart Energy Council スマートエネルギー協議会	ACT	https://www.smartenergy.org.au/	14,24	1,000以上の会員（個人、国内・海外企業、組織）で構成されるスマートエネルギーについての協議会。水素産業についてのセミナー、ワークショップ、ウェビナーなどを主催している。
民間企業	ABEL Energy	QLD	https://www.abelenergy.com.au/	20	TAS州Bell Bayにて、大規模な再生可能エネルギーをベースとした水素やe-メタノール（再生可能エネルギーの電力を元に作られたメタノール）の生産施設の開発「ABEL Energy Bell Bay Powerfuels Project」の実現可能性調査を行っている。
民間企業	AGL Energy / ActewAGL	NSW	https://www.agl.com.au/	27,40	エネルギー大手企業。川崎重工業、J-Power、岩谷産業、丸紅、住友商事との6社コンソーシアムでHydrogen Energy Supply Chainプロジェクトを進めている。Latrobe Valleyに同社が所有するLoy Yang探鉱で褐炭を採掘し、同じく同社所有のLoy Yang A 発電所に併設した石炭ガス化プラントで水素を製造する。また、ACT 政府所有のIcon Water (旧 ACTEW Corporation) と設立したJVのActewAGLは、ACT政府が保有する20台の水素燃料電池電気自動車（HFCEV）向けの公共水素ステーションの建設を行っている。
民間企業	Anglo American	QLD	https://www.angloamerican.com/	-	イギリスの資源大手。2020年10月、ENGIEと提携して世界最大の水素エンジンを搭載した鉱山用トラックの開発と燃料供給に関する契約を締結。ENGIEが水素生成ソリューションを提供し、Anglo Americanがトラックの開発を行う。
民間企業	APT Management Services Pty Limited	WA	https://www.apa.com.au/	30	Woodside Energy社の合併事業で「Badgingarra Renewable Hydrogen Project」を計画。100%再生可能な電力を使用して水素を製造し、発電、輸送、産業用途に使用する他、パースへの水素のパイプライン輸送の長期的な選択肢を提供する。
民間企業	ATCO Australia Pty Ltd	WA	https://www.atco.com/en-au.html	36	カナダの大手電力会社のオーストラリア法人。電気分解技術を使用した10MWの商業規模の水素製造プラント「Clean Energy Innovation Park (CEIP)」の建設・運営を計画。実現した場合、再生可能エネルギーを主な電力源として、10MWの水素製造プラントで1日当たり4.2~4.6トンの再生可能水素の生成が可能になる。
民間企業	Australian Gas Infrastructure Group (AGIG) Australian Gas Networks Limited (AGN)	VIC	https://www.australiangasnetworks.com.au/	25,35,36	香港の大手デベロッパーである長江実業集団の傘下で、アデレードを拠点とする天然ガス販売業者。同社が計画する「Hydrogen Park Murray Valley (HyP Murray Valley)」は、10MWの電気分解機をWodonga排水処理施設に併設。水素を最大10%の割合で天然ガスに混合し、近隣のAlbury (NSW) やWodonga (VIC) などへのガス供給を脱炭素化し、産業や運輸部門への供給を行う。
民間企業	Austrom Hydrogen	QLD	https://ah2.com.au/	16	QLD州中央部のCallide近郊に、最大3,600MWの太陽光発電所とバッテリー施設を開発する計画「Queensland Solar Hydrogen Facility」を発表。Gladstone港で計画されている水素製造施設に再生可能エネルギーを供給し、水素の輸出を目的としている。
民間企業	BHP Billiton Nickel West Pty Ltd	WA	https://www.bhp.com/our-businesses/minerals-australia/nickel-west/	-	Kwinanaのニッケル精製所に10MWの水素電解機を設置する「BHP Nickel West Green Hydrogen」プロジェクトにおいて、電気分解機から生成された水素と酸を内部で使用し、製油所からのCO2排出量を削減する計画。
民間企業	BOC Australia	NSW	https://www.boc.com.au/shop/en/au/home	36,38	大手ガス・エンジニアリング会社。2019年9月、ブリスベンのBulwer島にある生産施設で、QLD州初の再生可能水素プロジェクト「Renewable Hydrogen Production and Refuelling Project」を開始したと発表。
民間企業	BP	VIC	https://www.bp.com/	19	イギリスの石油大手（旧The British Petroleum Company plc）。水素の輸出事業に関心を示しており、WA州Geraldtonで再生可能な水素・アンモニア施設の実現可能性調査を行っている。
民間企業	Countrywide Renewable Energy / Countrywide Renewable Hydrogen	VIC	https://www.cren.com.au/	29	WoodsideとTAS州のBell Bay先進工業地帯でグリーン水素の製造プロジェクト「H2TAS Project」を進行中。他に、Melbourne Hydrogen Hub、Portland Renewable Hydrogen Projectなど。
民間企業	CWP Renewables	NSW	https://www.cwprenewables.com/	24,34	再生可能エネルギー開発を手がける。アジアや欧州の企業との企業連合NW Interconnected Power名義でWA州から大規模な水素の生産・輸出を行う「Asian Renewable Energy Hub」を検討中。2020年12月には、水素の普及を目指す欧州を中心とした企業連合「グリーン水素カタバルト」に参画。
民間企業	Daintree Renewable Energy	QLD	https://arena.gov.au/knowledge-bank/powering-daintree/	16	遠隔地のDaintree熱帯雨林地域において、日照不足で太陽光発電が使えない時期のために水素を利用したマイクログリッドの技術的・経済的実現性を調査する「Daintree Microgrid Project」を行っている。
民間企業	Energy Developments	QLD	https://edlenergy.com/	-	オーストラリア、北米、ヨーロッパで持続可能な分散型エネルギーを提供する企業。「Hydrogen Penetration - EDL Hydrogen Enabled Hybrid Renewables」プロジェクトでは、WA州における再生可能な水素を地域コミュニティや鉱業に供給する可能性を調査している。2021年1月には事業化調査が完了し、事業を進めることが商業的に可能かどうかを検討していると発表し、水素やアンモニアなどの派生製品を購入する運送会社や潜在的な購入者とのパートナーシップの検討を開始した。
民間企業	Engie Renewables Australia Pty Ltd	WA	https://engie.com.au/	35	フランスの電力・ガス大手Engie。世界有数の肥料・アンモニア企業であるYaraとの共同プロジェクト「Yara Pilbara Renewable Ammonia」でYaraの世界最大級の規模を誇るWA州Pilbaraの既存のアンモニアプラントと統合する形で再生可能エネルギーを水素に変換するプラントを建設する。再生可能なアンモニアを国内販売および輸出することで工業施設の脱炭素化を目指す。
民間企業	Evoenergy	ACT	https://www.evoenergy.com.au/	37,38	NSW州とACT周辺の電力ネットワークとガスネットワークを運営・維持管理している。「Hydrogen Test Facility」プロジェクトでは、キャンベラ工科大学(CIT)と共同で既存のガス流通網に用いられる材料や機器にクリーン水素を混合する実験を行った。
民間企業	Fortescue Metal Group (FMG)	WA	https://www.fmgl.com.au/	23,28,37,41	鉄鉱石採掘大手、自社の鉱山車両や工場、水素をディーゼル燃料の代替として利用することを検討している。水素を利用したCO2排出ゼロの鉄鉱「グリーンスチール」の製造を目指す。
民間企業	Grange Resources	TAS	https://www.grangeresources.com.au/	20	TAS州北西部で鉄鉱石の採掘とペレット生産の総合事業を運営する企業。「Grange Resources Renewable Hydrogen Plant」では同社のペレット工場において、天然ガスの代わりに再生可能エネルギーを利用した水素を工業プロセスの熱源として利用する実現可能性調査を実施する。
民間企業	Hazer Group	WA	https://hazergroup.com.au/	31	西オーストラリア大学が開発した、低コストかつ二酸化炭素の排出が少ない環境負荷の低い水素生産技術「HAZER Process」の商業化を目的に2010年設立された。

調査レポート「オーストラリアにおける水素産業に関する調査」

カテゴリー	社名・団体名（日本語名称は非公式訳のものを含む）	拠点	URL	本文関連ページ	概要や参加プロジェクトなど
民間企業	Horizon Power	WA	https://www.horizonpower.com.au/	37	WA州の電力供給会社。世界初となる水素発電を用いたマイクログリッドの運営試験「Denham Hydrogen Demonstration Plant」を実施。
民間企業	Hydro Tasmania	TAS	http://hydro.com.au		水力および風力発電施設を運営している電力会社。再生可能エネルギーから生産した電力を用いて水の電気分解を行い、水素を生産する計画を進行中。クリーンエネルギー協議会(CEC)の主要スポンサー企業。
民間企業	Hydrogen Renewables Australia	WA	https://hydrogenrenewablesaustralia.com/	19	風力などのインフラ事業に特化した投資企業Copenhagen Infrastructure Partners (CIP)との協力で、WA州沿岸部で計画中の大規模な水素生産・輸出プロジェクト「Murchison Renewable Hydrogen Project」を計画。
民間企業	Hydrogen Utility (H2U)	SA	https://www.hydrogenutility.com/	33	SA州で再生可能エネルギーを利用して水素貯蔵材料（水素キャリア）としてのアンモニアを生産するグリーンアンモニア事業「H2U Eyre Peninsula Gateway Project」を計画。三菱重工業は同プロジェクトへの技術協力を行っている。
民間企業	Incitec Pivot	VIC	https://www.incitecpivot.com.au/	16	肥料の製造などを行う多国籍企業。子会社のDyno Nobel Moranbah名義でDyno Nobel Renewable Hydrogen Project、Wesfarmerの子会社であるCSBPとのJVでQueensland Nitrates Renewable Hydrogen and Ammonia Projectを行っている。
民間企業	Infinite Blue Energy (IBE)	WA	https://infiniteblueenergy.com/		国内初の商業用グリーン水素生産会社として2021年にASX上場予定。WA州Dongara南部でArrowsmith Hydrogen Projectを計画。太陽光発電と風力発電を利用し、1日当たり25トンの水素を製造する計画で、2022年末までの稼働を目指している。
民間企業	Jemena	VIC	https://jemena.com.au/	38	ガスパイプラインを保有し、ガス輸送事業を中心に行うインフラ企業。バイオガスや水素などの新興エネルギーにも関心があり、西シドニーにおいて再生可能エネルギー発電所から購入した電力を使い電解槽で水素を生産する実証実験を計画。生産された水素は約250世帯にガスと共に送られるほか、燃料電池車(FCV)の補充ステーションにも送られる予定。
民間企業	LAVO	NSW	https://lavo.com.au/		2021年1月、NSW大学と共同で、世界初の家庭用水素燃料電池を開発したと発表。冷蔵庫ほどの大きさで、発電パネルと接続すれば燃料電池内の電極により水を水素と酸素に分解し、水素を貯めることができるほか、貯めた水素から発電することも可能。
民間企業	Macquarie Corporate Holdings Pty Limited	QLD	https://www.macquarie.com.au/en/about/company/macquarie-capital.html		Anglo Americanと共同で、QLD州のDawson鉱山における太陽光発電によるグリーン水素製造と鉱山車両の統合プロジェクトを計画。ARENAの助成金「Renewable Hydrogen Deployment Funding Round」の最終候補の一つ。
民間企業	Manilla Community Renewable Energy	NSW	http://www.manillarenewableenergy.com.au/	32	再生可能エネルギーの可能性に注目したManilla地域の市議会や企業によって設立された再生可能エネルギー企業。NSW州初の太陽電池と蓄電設備を組み合わせた水素プラントの建設計画「Manilla Solar & Renewable Energy Storage Project」を主導している。同計画ではProvidence Asset Group(PAG)の資金援助によりNSW大学が開発したH2Storeと呼ばれる水素貯蔵システムが活用されており、低コストでの水素貯蔵を目指している。
民間企業	Neoen	NSW	https://www.neoen.com/en	40	フランスを本拠地とする再生エネルギー生産業者。ACTでHFCEV公共水素ステーションの建設やSA州のハイブリッド再生エネルギー施設Crystal Brook Energy Parkに水素製造施設の建設を計画している。
民間企業	NW Interconnected Power	WA	https://www.epa.wa.gov.au/proponent-name/nw-interconnected-power-pty-ltd	34	WA州でAsian Renewable Energy Hub計画を進行する企業連合。オーストラリアの再生可能エネルギー開発企業であるCWP Energy Asia、香港の世界有数のグリーン水素開発会社Intercontinental Energy、デンマークの大手風力タービンメーカーVestas、民間投資家のPathway Investmentsの4社で構成される。
民間企業	Pacific Hydro Australia Developments	VIC	https://www.pacifichydro.com/	19	メルボルンに本社を置く中国系再生可能エネルギー企業。中国の国営電力投資公社が所有している。WA州Kimberley地域のOrd Hydroプラントと水素製造プラントの共同設置の可能性を評価するための実現可能性調査を実施している。
民間企業	Pacific Hydro Pty Ltd	VIC	http://pacifichydro.com.au	19	1992年にオーストラリアで設立され、水力および風力発電施設を運営している。WA州政府からの資金提供を受けて、Kununurra近郊に再生可能な水素プラントを建設するプロジェクト「Ord Hydrogen」の実現可能性調査を行っている。1997年から同社バシフィック・ハイドロが所有・運営しているOrd川の水力発電所で発電された再生可能エネルギーを利用して水素を製造する。クリーンエネルギー協議会(CEC)の主要スポンサー企業。
民間企業	Santos	SA	https://www.santos.com/		石油大手企業。2020年7月、QLD州とSA州にまたがるCooper盆地の天然ガスからブルー水素を製造するための調査を開始。発生したCO2は二酸化炭素回収・貯留(CCS)技術を用いてSA州Moombaのガス田に貯留する計画。英石油大手のBPは同プロジェクトに2,000万豪ドルを投資している。
民間企業	Southern Oil Refining	NSW	https://www.sor.com.au/	16	Gladstone近郊の既存施設に、廃ガスから水素を製造するための大型パイロットプラントを設置・運転する「Bio-Hydrogen Demonstration Plant」を進行中。
民間企業	Spicers Retreats	QLD	https://spicersretreats.com/	16	QLDを中心に展開する観光企業。再生可能エネルギーを利用した水素エネルギーシステムを利用して、5か所のエコキャンプ場に必要電力を供給するプロジェクト「Spicers Retreats Scenic Rim Trail Ecotourism Demonstration using Low Pressure Hydrogen」を提案。
民間企業	Stanwell Corporation	QLD	https://www.stanwell.com/home-stanwell/	30	QLD州の電力の約3分の1を生産する州営の発電企業。QLD州中央部のRockhampton南西に位置する同社の発電所に電解槽を設置し、年間1,600トンの水素の製造を行う「Stanwell Renewable Hydrogen Production」プロジェクトのほか、岩谷産業と協業し、大規模水素サプライチェーンの構築に向け、グリーン水素の製造・液化・輸出事業化を計画している。
民間企業	Sun Metals Corporation	QLD	https://www.sunmetals.com.au/	16	韓国の亜鉛製造企業。Korea Zinc Company Limitedのオーストラリア法人。再生可能な水素生産を確立し、ガス混合水素の商業化を支援し、亜鉛処理製油所や大型車の輸送に使用することを目的とした「Sun Metals Hydrogen Queensland SunHQ Project」を計画。
民間企業	True Green Impact	NSW	https://truegreengroup.com/	25	持続可能性の高い事業を対象にした投資グループ。中国の商用車メーカーFotonと提携し水素バスの輸入・製造を計画。
民間企業	Utilitas Group	QLD	https://utilitas.com.au/	16	バイオエネルギー開発企業。林業、農業、果物、野菜、サトウキビの副産物、一般廃棄物などの廃棄物資源が豊富にあるQLD州Bundabergで有機廃棄物から生成されるバイオガスを用いて燃料電池級の水素を製造する「Utilitas-ReCarbon Organic Waste to Green Hydrogen Technology」プロジェクトを進行中。第一段階では、大型車や鉄道・船舶、天然ガスグリッドへの注入などの応用を実証し、水素技術クラスターを構築することを目的としている。
民間企業	Woodside Petroleum	WA	https://www.woodside.com.au/	23,29,30,41	オーストラリア最大の石油・ガス生産会社。TAS州Bell Bayでグリーン水素の製造プロジェクトH2TASを実施中。水素の輸出事業に関心を示しており、日本のJERA、丸紅、IHIと4社共同で火力発電所の脱炭素化試験を実施すると発表したほか、韓国の「水素エネルギー・ネットワーク(HyNet)」が進める、水素ステーションの建設や運営計画に出資すると発表している。子会社でオーストラリア最大の天然ガス生産者のWoodside Energy LtdはCountrywide Renewable Energy(CRE)と共同でTAS州のBell Bayにある重工業地帯で再生可能な水素プロジェクト(H2TAS)を計画している。国内の輸送部門を対象として1日当たり4.5トンの水素を生産する。